

平成 26 年 3 月 6 日宝塚良元校で、3 月 7 日本校で卒業式が挙行されました。卒業生数は宝塚良元校が 22 名、本校が 61 名でした。卒業生たちは、自信と誇りに満ちた笑顔で川西高校を巣立っていきました。私は、この卒業生たちのように、「自分もやればできるんだ」という自信をもって、また、自分のよさに気付き、自己有用感を抱いて、社会に巣立って行ってほしいと願い、本年度も、川西高校の教育に、教職員と手を合わせて全力で取り組みます。

県立川西高校は、独立定時制高校として、昭和 23 年に設置されていらい 60 年を超える歴史ある学校です。昭和 50 年に川西市加茂 3 丁目の校舎に移転し現在に至っています。昭和 55 年より、網干高校通信制課程の協力校となり今もこの校舎でスクーリングが行なわれています。また、平成 13 年に、川西市の本校以外にも、宝塚市小林にある宝塚良元分校が川西高校の分校となりました。このように県立川西高校は長年にわたり県民の皆様に多様な学習の場を提供して参りました。そして、本来は、勤労青少年が学ぶ学校として出発した学校ですが、近年は、必ずしも勤労青少年の学ぶ場だけにとどまらず、様々な入学動機や学習歴をもつ多様な生徒が入学し、生涯学習の場となっています。

このような歴史ある川西高校ですが、後 1 年で残念ながら閉校となり県立阪神昆陽高校に統合となります。

「ありがとう、永遠に心に残そう我が母校」

これは、「閉校のその日まで、川高生みんな心をひとつにしてがんばろう」という気持ちを表したスローガンです。生徒が考えてくれました。いいスローガンだと思いませんか。

限られた日数ですが、最後まで、1 時間 1 時間の授業を大切にするとともに、生徒数が減少していくという厳しい状況の中でも、部活動・生徒会活動・学校行事等の充実を図り、生徒がこれからの人生をおくる上で必要な、基礎的・基本的な学力や社会性が身につくような教育を行います。つきましては、平成 26 年度学校経営重点目標として次の 5 項目を掲げました。

- 1 生徒・教職員が、前向きに積極性をもって日々の教育活動に邁進し、悔いの残らない最後の 1 年を送る。
- 2 第 4 学年全員の卒業を目指す。
- 3 生徒の進路意識を啓蒙し、就職率・進学率を高める。
- 4 計画性をもって、適切かつ迅速に粛々と阪神昆陽高等学校への統合に向け必要な業務を遂行する。
- 5 生徒の心に永遠に残るような感動的な閉校式を挙行する。

平成 26 年度は上記の 5 つの学校経営重点目標を達成することを目指し、日々の教育活動に取り組んで参ります。本年度も、保護者や地域の皆様を初め、川西高校関係者様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。